

平成24年10月21日(日)
 区内の中学生を対象とした「防災対応力強化研修」と青少年指導員の「全体研修」を合同で実施しました。防災対応力強化研修は、平日の昼間に大地震が発生したことを想定して、心肺蘇生法、ガレキからの救出、ロープの使い方、トイレバック取扱、仮設トイレの組立て、地下タンク給水栓取扱のほか放水体験、はしご車のデモ、防災クイズなど、内容は盛りだくさんでした。
 このような総合的な研修はもちろんのこと、消防訓練センターを会場とするのも市内初の試みでした。当日は秋空のなか、中学生と青少年指導員など約230人がいっそう絆を深めた一日となりました。
 講師は、消防局、水道局、資源循環局、大塚製薬株式会社及び神奈川県LPガス協会に務めていただきました。参加者からは、「とても内容の濃い研修だった」との感想をいただきました。



写真上【ロープの使い方】
 体重をかけてもほだけない結び方が、一瞬で出来てびっくり。



写真下
【AED取扱・胸骨圧迫と止血法】
 救急車が来るまでの初期対応の重要性を教わりました。



写真上【放水体験】
 直径40ミリのホースは、経験したことのない水の強さでした！

24年・25年の行事

終了した行事	今後の行事予定
10月6日(土) 第11回 戸塚っ子いきいきアートフェスティバル (戸塚公会堂) 区内小中高生による合唱・吹奏楽・ダンスなどの合同発表会(共催)	5月19日(土) 第14回 チャレンジフェスティバル(戸塚小学校) 19種類の競技にチャレンジ、出るか新記録!(共催)
10月21日(日) 青少年防災対応力強化研修・青少年指導員全体研修 上記報告をご覧ください。	6月9日(日) 戸塚区青少年指導員新人研修会 新人対象の基礎研修
11月3日(土) 戸塚ふれあい区民まつりで活動アピール (東戸塚小学校) パルーンアートや模擬店出店	7月7日(日) 戸塚区青少年指導員中堅研修会 2期以上対象の研修会
12月2日(日) 神奈川県青少年指導員大会(関内ホール)	7月 青少年の健全育成を進める県民大会 「社会全体で青少年を守り、支え、育てよう」 横浜市一斉統一活動
12月9日(日) 児童文化作品展(戸塚地区センター) 各地区で創った作品を紹介展示	9月 横浜市青少年指導員研修
1月19・20日(土・日) 第12回 戸塚っ子いきいきアートフェスティバル (戸塚センター) 区内小中高生による合唱・吹奏楽・ダンスなどの合同発表会(共催)	10月 第13回 戸塚っ子いきいきアートフェスティバル 青少年防災対応力強化研修・青少年指導員全体研修

あいちゃん
 横浜市青指のシンボルマーク
 戸塚区青少年指導員協議会は 戸塚区青指 検索

<目次>
 1P...子育てワンポイント! / 2・3P...とつか各地区のイチ押し! / 4P...報告と24・25年の行事

二つのじりつ

「子育ての目的は...?」と尋ねると、「明るい子にしたい」「心が豊かな子に育てたい」「思いやりのある優しい大人になって欲しい」また「英語くらいは話せる人間に」などの答えが返ってきます。また、世相を反映してか「いじめられない子に」や逆に「いじめつ子にならないように」などの声も聞かれます。これらは親の願いであって目的ではありません。

子育ての目的は子どもの「自立」です。
 自分で、朝起きて、着替えて、ご飯を食べて、トイレに行って...という身体的自立。
 物事に興味を持ち、挑戦し、成果を得て自信を持ち、自分らしさを持つ...という精神的自立。
 したい・できる仕事を選択決定して、継続的にお金を得る...という経済的自立。
 これらが「自立の三本柱」です。

でも、中には勘違いの「自立」もあります。
 自信は精神的自立にとって大切な要素ですが、自分の努力だけでやり遂げた...というのは過信ですから、もう一歩前進が必要です。自分独りでやり遂げたように思われたことも、実は多くの他者の協力やめぐり合わせがなくては出来ません。
 「おかげさまで」「情けは人のためならず」など、感謝や思いやりの気持ちを持つことも本当の「自立」の大切な要素です。

また、「お金を稼げること=成功」の構図が、経済的自立のように思われがちですが、それだけでは「自立」と言えません。「お金を得るためなら何をしてもいい」「自分で稼いだ金だから何に使ってもいい」など、一生懸命に努力する姿勢、その成果に対する自分へのご褒美などは大切かも知れませんが、その行為や態度を不快や迷惑に感じている人はいないか...という周りへの配慮が欠けていれば、一人よがりの「自立」です。
 自分がされて嫌なことは、人にしないのは当たり前。さらに踏み込んで、自分がされて平気なことでも、人はそうでないかも知れない、と相手の気持ちを察する感受性が重要です。

人は基本的に「自己中心的」です。自分の欲することをしたいのが人間です。そのために「自立」を目指します。しかし、環境とのバランスを取るために我慢をする必要が出てきます。それには、自分で自分を律しコントロールする力、つまり「自律」が必要です。

子育ての目的は子どもの「自立」と「自律」、二つの「じりつ」です。

後編 とつが各地区のイチ押し!

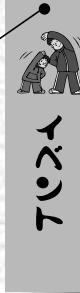
こと ところ
身近な町のこんな事、こんな所。



【上矢部地区】
毎月の定例会など青少年指導員・スポーツ推進員・子ども会の3団体が連携し、取り組んでいることです。地域の活動では3団体の相互協力が不可欠であり、親睦と連携を深める事を目的として、毎年5月にソフトバレーを行なっています。最初は和やかに始まりますが、次第に勝負の気持ちが顔を出し、必死にボールを追う姿が、余計に笑いを誘っています。



【平戸平和台地区】
毎年8月に3,000人超の来場者で熱気あふれる「平和台祭り」です。太鼓連演奏・盆踊り・模擬店・バトン・吹奏楽演奏・山車と子ども神輿など盛りだくさん!! 昨年の目玉は、連合町内会の資源回収積立金で購入した子ども神輿のお披露目でした。



【戸塚第三地区】
10月に開催した「健民体育祭」今回で38回目を迎えましたが、同じ競技を3回やらないと全チームが参加できないほどの大盛況。第1回は昭和50年に開催されたので、「戸塚区民まつり(昭和52年)」より前から行われています。



【柏尾地区】
毎年7月に恒例のインディアカ大会を二つ開催します。「大人のインディアカ大会」と「少年少女スポーツ大会」です。大人の大会は12回目で45チーム、200人程の大会で、4クラスに分かれ各クラス毎に熱い対戦を繰り広げます。少年少女の大会は23回目で、20チーム、150人程で高学年と低学年に分かれて熱い戦いを、父兄の応援で体育館がはちきれんばかりになります。



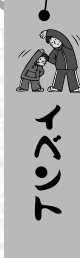
【北汲沢地区】
毎年8月に「青少年キャンプ」を行っています。海水浴・花火・スイカ割り、カレー作り等を行い、夏休みの楽しい思い出作りを手助けしています。また、毎年12月には、お正月に飾れる門松作りを行っています。



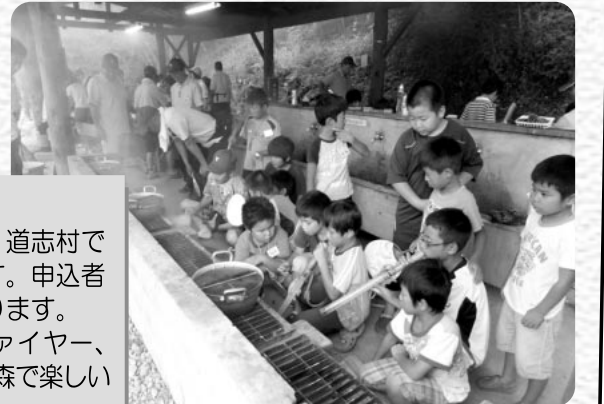
【舞岡地区】
10月14日に恒例の子ども会対象のさつまいも掘りを行いました。おいもの出来もよく、みなさん大変よろこんでいました。また子ども会のお母さん方が豚汁を作ってくれました。こちらも大変好評で一人で4~5杯食べる子どももいました。来年も開催していこうと思います。



【戸塚第二地区】
“地区から泳げない子をなくそう”と、毎年8月上旬に、スポーツ推進員と青少年指導員が協力して、3人のコーチを招き、水泳教室を行っています。泳げたときの子ども笑顔と、無事故で35年続けていることが自慢です。



【戸塚第一地区】
毎年8月に、横浜市の水源地、道志村で行う一泊二日のキャンプです。申込者も多く抽選になることもあります。川遊び、工作、キャンプファイヤー、自炊の食事と空気のきれいな森で楽しい思い出づくりです。



【踊場地区】
6月3日金沢区の「海の公園」へ潮干狩りに行ってきました。例年より大粒のあさがりざくざくと採れ、30分で制限の2Kgいっぱいでした。みんな笑顔で帰宅しました。

